

茶の湯と イエズス会宣教師 中世の異文化交流

スムットニー祐美 著

好評発売中（2016年12月刊行）

▶ 四六判・248頁／定価：本体 4,600円（税別）

ISBN978-4-7842-1863-9

16世紀末、いわゆる戦国時代に、ヨーロッパからキリスト教布教のために来日したイエズス会宣教師たちは、在日中、文化や人々の生活習慣などの情報収集と分析を行い、日本人にふさわしい宣教の糸口を模索していた。その一つが、日本人の間で盛んに嗜まれていた茶の湯であった。

従来は漠然としか考えられていなかった茶の湯とキリスト教との関係を、ローマイエズス会文書館より収集した本邦初公開の史料をもとに、詳細に明らかにする。そこからは、彼らキリスト教宣教師たちが、いかに茶の湯の精神的側面を高く評価し、茶の湯による接客を重視していたかが浮き彫りになる。

現在の異文化交流のヒントに満ちた、四百年前のおもてなしの実態を鮮やかに描き出す。

◎内容目次◎

序論

第一章 異教徒への適応主義に基づいた宣教方針

イエズス会創立の経緯
エンリケスの宣教方法

第二章 ルイス・アルメイダの茶会体験報告

アルメイダが堺の都市を訪れるまでの経緯
アルメイダが認識した茶の湯

第三章 ルイス・フロイスの茶室に関する報告

フロイスが認識した茶室
日本における適応主義に基づいた宣教の実態

第四章 通辞ジョアン・ロドリゲス『日本教会史』から 巡察師アレッサンドロ・ヴァリニャーノの宣教方針への道程

ロドリゲスが『日本教会史』を編集した経緯
ヴァリニャーノの日本視察までの経緯
ロドリゲスとヴァリニャーノが認識した日本の礼儀作法

第五章 ヴァリニャーノが茶の湯から導き出した適応主義に基づく宣教方針

ヴァリニャーノが意図したイエズス会の茶の湯者「同宿」
イエズス会修道院内の茶の湯によるおもてなし
ヴァリニャーノが認識した茶の湯の精神性

結論

史料「日本管区規則」（ローマイエズス会文書館所蔵）／参考文献／あとがき／索引



すむっとにー・ゆうみ…関東学院大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）。専門は異文化コミュニケーション・茶道学。米海軍第七艦隊第72任務部隊／前方艦隊航空司令部 渉外担当、関東学院大学非常勤講師。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		（京都 取引コード 3402）	
冊数	冊	茶の湯とイエズス会宣教師		本体4,600円（税別）	ISBN978-4-7842-1863-9
お名前				tel	
				e-mail	
ご住所	〒				
送本方法	代引（書籍代＋消費税＋送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担） ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

織豊期の茶会と政治

竹本千鶴著

【オンデマンド版】

織田信長による名物茶器をしつらえた茶会の場を、従来のようにわび茶の史的変遷の一齣として見ていくのではなく、室町殿中の座敷飾りが段階的に発展した「大名茶湯」として捉えて、中世史の中に位置付け、織田・豊臣政権における支配構造の一側面を茶会の場を通して明らかにする。(初版2006年)
※受注生産のため、ご注文から2週間ほどお時間いただきます



▶A5判・476頁／本体9,500円(税別)

ISBN978-4-7842-7007-1

講座 日本茶の湯全史

茶の湯文化学会編

茶の湯文化学会の創立20周年記念出版。

本講座は、日本文化史の中に位置づけられた茶の湯の展開を、茶の湯文化学会が総力をあけて俯瞰する。時代を輪切りにしながら見る本編と、茶の湯の重要な要素を通史として見渡す特論からなりたち、さらに各巻には時代別の概説と研究の手引き、参考文献を掲げ、研究課題を提示することで、初学者にはもちろん、さらに深く茶の湯研究を志す人にとってのハンドブック的な要素ももたせる。

中世▶46判・328頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1696-3

近世▶46判・370頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1697-0

近代▶46判・336頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1698-7

熊倉功夫著作集

熊倉功夫著

伝統とは、美とは、日本とは——文化史の諸領域にわたり茶の湯を軸として、鋭敏な感覚で鮮やかに本質を明らかにし、分野を軽々と飛び越えて新たなパースペクティブを示し続けてきた著者が、自選によってまとめる七つの小宇宙。



第1巻 茶の湯—心とかたち— 解説:中村修也

第2巻 茶の湯と茶人の歴史 解説:谷端昭夫

第3巻 近代茶道史の研究 解説:田中秀隆

第4巻 近代数寄者の茶の湯 解説:原田茂弘

第5巻 寛永文化の研究 解説:松澤克行

第6巻 民芸と近代 解説:中野目徹

第7巻 日本料理文化史 解説:原田信男

▶A5判・平均500頁／各本体7,000円(税別)

キリシタン大名の考古学

別府大学文化財研究所 他編 別府大学文化財研究所企画シリーズ②
近年、キリシタン大名やキリシタンにかかわる遺跡の発掘が進み、研究は新しい段階に入り始めている。本書は単に考古学的成果をまとめるだけではなく、領域を越えて、文献学や分析科学などの他領域の成果も融合し、新しい戦国城下論・キリシタン考古学論・流通論など、新たな研究手法を提示する。

▶B5判・178頁／本体3,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1472-3

日欧のかけはし 南蛮学の窓から

松田毅一著

フロイスの日本史をはじめ、イエズス会日本報告集や南蛮史料の研究で知られる著者が、精密な史料研究の合い間に折に触れて発表した小論・エッセイを収める。両洋から照らし出された事実の数々が、史家の冷静な眼が、キリシタン時代の国際的環境、異文化の出会い、人々の姿を語る。

▶46判・352頁／本体2,800円(税別)

ISBN4-7842-0618-3

世界喫煙伝播史

鈴木達也著

前著『喫煙伝来史の研究』で従来の諸説の問題点に光りを当てた著者が、前編では新大陸からヨーロッパ、中近東、アフリカの諸地域へ伝播したタバコと喫煙について考察。これをふまえて後編では日本への伝来、アジア近隣国への伝播について、これまで定説的に扱われてきた諸説を改めて見直し、時間軸上に矛盾のない説を展開する。

▶A5判・592頁／本体8,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1799-1

高木仙右衛門に関する研究

「覚書」の分析を中心にして

高木慶子著

江戸時代末期～明治初期に起きたキリスト教信徒弾圧事件「浦上四番崩れ」。中心人物である高木仙右衛門の「覚書」を分析、宗教学・歴史学の視点から、信教の自由獲得に果たした役割を論証。仙右衛門の曾孫による、キリスト教史研究。

▶A5判・228頁／本体2,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1684-0

大航海時代の日本と金属交易

平尾良光 他編

別府大学文化財研究所企画シリーズ③
分析科学と文献史学の融合を目指す別府大学文化財研究所企画シリーズ第3弾。最新の鉛同位体比分析の成果から、日本の銅生産や中世～近世日本の金属流通のありよう、南蛮貿易の意義などに新たな視角を提示する。巻末に戦国時代関連資料の鉛同位体比一覧を掲載。

▶B5判・224頁／本体3,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1768-7

南蛮・紅毛・唐人 一六・一七世紀の東アジア地域

中島楽章編

16～17世紀の東アジア海域は、多様なエスニシティをもつ人々が混在し、彼らの活動を通じて、モノやヒト、そして文化や情報が海をこえて運ばれた。「南蛮」「紅毛」「唐人」、そして「倭人」たちが残した証言を、さまざまな視角から多面的に論じることにより、東アジア海域における「紛争と交易の時代」のダイナミズムを描きだす。

▶A5判・418頁／本体6,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1681-9

朱印船貿易絵図の研究

菊池誠一編

名古屋市情妙寺所蔵「茶屋交趾貿易渡海絵図」と、新出史料である九州国立博物館所蔵「朱印船交趾渡海図巻」。この二つの絵図の精彩なカラー図版にくわえ、美術史・歴史学および考古学など多彩な研究者による6篇の論考を収録。二つの朱印船貿易絵図を多角的に分析する。

▶A4判横綴・104頁／本体7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1712-0

宣教と受容 明治期キリスト教の基礎的研究

中村博武著

日本におけるキリスト教の宣教と受容を新資料の検証を通して解明した力作。經典成立史、新造語の成立経緯などの原理的な問題から、浦上信徒総流罪に対する長崎外国人居留地の英字新聞や宣教師の書簡の解明、さらには上海租界地の宣教、内村鑑三と英字新聞の論争などを通して西洋文明が東アジアに与えた衝撃の一端を明かす。

▶A5判・610頁／本体12,000円(税別)

ISBN4-7842-1025-3

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。